



年末年始の事故に注意喚起 交通事故防止キャンペーン

12月22日(水)、年末年始の交通事故防止に合わせて、交通安全母の会(町婦人会)10人と駐在所連絡協議会8人が交通事故防止キャンペーンを水光社津奈木店で開きました。当日は啓発チラシやポケットティッシュ、反射ストラップなど配布。夜間の外出時は明るい服装を心がけるよう、歩行者目線の対策などを伝え、交通事故防止や防犯を呼びかけました。



↑来店者にチラシなどを配布する婦人会



みんなで楽しむ絵本の世界 はじめての読み聞かせ講座

12月18日(土)、つなぎ文化センターではじめての読み聞かせ講座が開かれました。講師は益城町図書館司書で絵本専門士の永塩和佳さん。永塩さんは参加者約20人に読み聞かせの意味や絵本の選び方・読み方など絵本の楽しさを伝え、「聞き手を考えながら、自分が読みたい本を心を込めて読むといい」と話していました。

↓イチゴジャムやチョコレートクリームをトッピングする子ども



ふ わふわのホットケーキに舌鼓 九州パンケーキナイト

12月23日(木)、物産ギャラリーグリーンゲートイベント広場で九州パンケーキナイトが開かれました。本町で宿泊とワーケーション(仕事・休暇)の実証実験を行っていた九州アイランドワーク株式会社による主催。訪れた約50人はパンケーキに本町のスイーツ店「あん・さんく」が手がけた、果物を使ったジャムなどをトッピングしておいしそうに食べていました。

町のために使ってください 津南保育園歳末助け合い

12月24日(金)、津南保育園から川元陽葵さん(町中)と木福未愛さん(桜戸)が、義援金を町へ贈りました。これは、園児たちのおこづかいの一部を町の活動に役立ててもらいたいという思いで集められたものです。少し緊張した様子の2人は義援金を手渡した後、町長との会話を楽しんでいました。義援金は町の福祉事業のために活用されます。



↑町長に義援金を手渡す園児

↓山田町長に作品を寄贈したアイリーン・美緒子・スミスさん(右)



アイリーン・美緒子・スミス(写真家/環境ジャーナリスト)

1950年、東京都生まれ。1970年にアメリカでユージン・スミスのアシスタントとなり翌年に結婚。1971年から3年間、ユージン・スミスと水俣市に住みながら水俣病の取材を続け、アメリカで写真集『MINAMATA』を刊行。現在は写真の著作権管理を行いながら環境をテーマとした社会活動を行っている。京都府在住。

税金の役割や重要性を理解 中学3年生租税教室

12月14日(火)、次世代を担う若い世代に税金の役割などの租税制度を正しく理解してもらおうと租税教室が津奈木中学校で開かれました。町税務班職員が、クイズやアニメを通じて分かりやすく税金の流れを説明。生徒は消費税、所得税などが暮らしの中で大切に使われ、中学生には1人年間約105万円の税金が使われていることを学びました。



↑1億円のレプリカを手にする生徒

写真72点をつなぎ美術館に寄贈 展示写真寄贈式

12月22日(水)、水俣病を世界に伝えた米国の写真家ユージン・スミスさんと元妻のアイリーン・美緒子・スミスさんの作品がつなぎ美術館に寄贈されました。寄贈されたのは、同館で昨年9月11日~11月23日に開かれた「ユージン・スミスとアイリーン・スミスが見たMINAMATA」で展示された69点と未展示3点の計72点。2人が1971~74年に水俣に暮らしながら、漁村の風景や患者の日常などを切り取ったもので、写真集『MINAMATA』に収められた作品も含まれています。

アイリーンさんは「公の機関が写真展を依頼してくれてうれしい。写真を通じて、世代間の会話や交流のきっかけとなり、地域の癒やしや発展につながれば」と話していました。

期間中は県内外から約3千人が来場し、開館20周年を迎えた同館の企画展として過去最多でした。寄贈された作品は今後、収蔵品展などで公開する予定です。

↓端宝単光章を受章した西平さん



地域の消防活動に尽力 令和3年秋の叙勲

11月3日(水)、令和3年秋の叙勲で西平秀明さん(川内)に端宝単光章が授与されました。昭和49年に町消防団に入団し、副分団長を歴任。平成22年までの約36年にわたり消防活動や団員の育成に尽力してきました。西平さんは「受章できたのは支えてくれた皆さんのおかげ。今後も消防団の経験を生かして安全安心なまちづくりに貢献したい」と話していました。